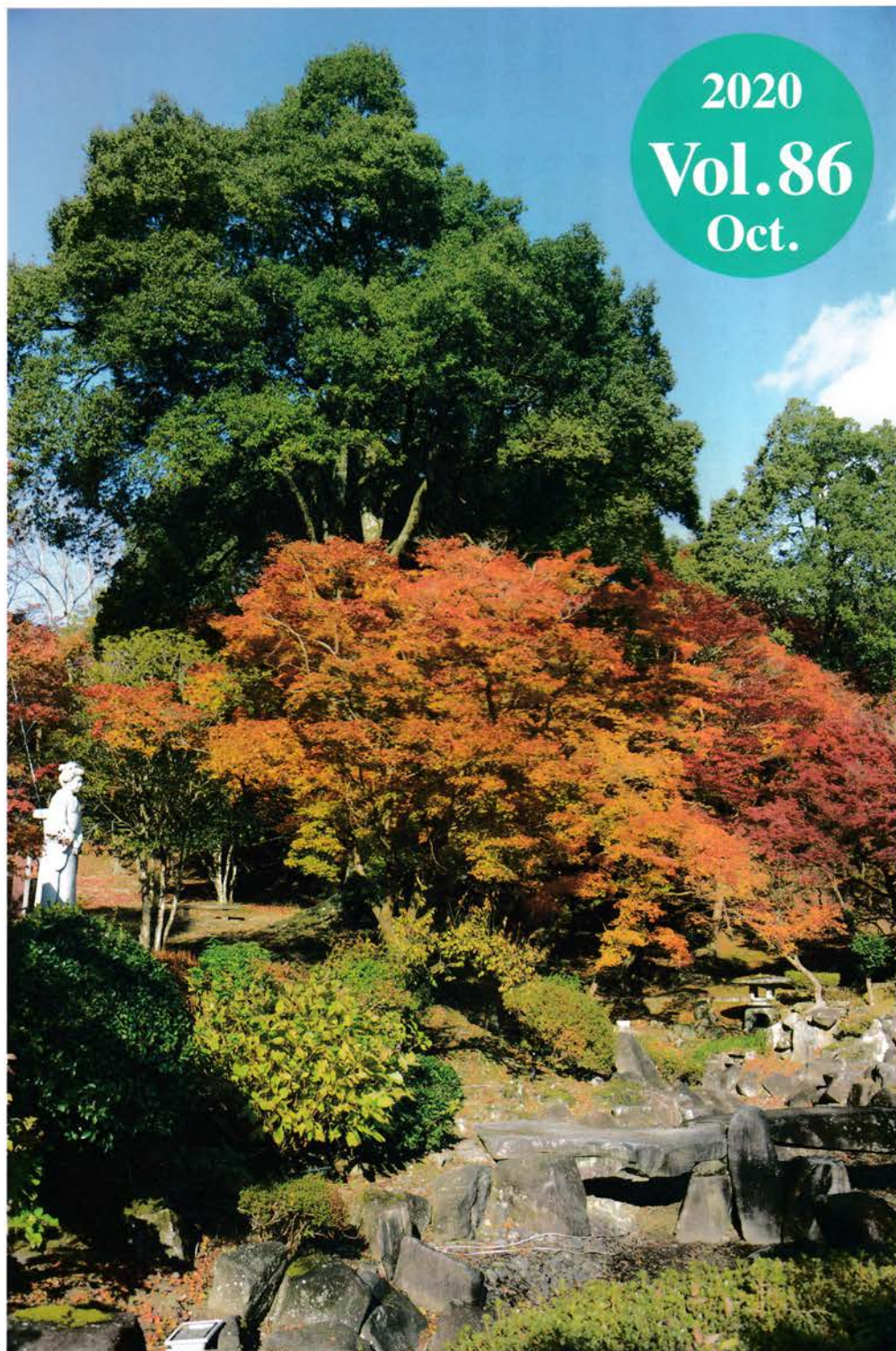


ひろしまの緑

発行 公益社団法人広島県みどり推進機構



2020
Vol.86
Oct.

令和元年度林業・環境緑化写真コンクール応募作品
タイトル：「秋の常緑樹と紅葉（広葉）樹」
撮影者：長谷川 敏喜さん（広島市）

目次

空港周辺地域の活性化を通じて森林公園環境の大切さを発信 吉舎学区緑化事業 緑の少年団とは 県立もみのき森林公園	2 3 4 5
令和2年度 林業・環境緑化写真コンクール作品募集 イベント掲示板 八千代みどりの少年団 令和2年度 広島県緑化ポスター原画コンクール	6 6 7 8

空港周辺地域の活性化を通じて

森林公園環境の大切さを発信

一般財団法人 中央森林公園協会理事長 小松 光二郎



広島県の中央部、広島空港を取り囲む広島県立中央森林公園は、現空港の開港と同時に開園し、爾来四半世紀にわたって多くの県民の利用に供されてきました。

開園当初には貧弱であった林相も、当地で行われた平成7年の全国植樹祭・平成18年の全国育樹祭を契機に、企業参加の森づくりや各種ボランティア活動を通して、多彩で多様な森林資源が充実しつつあります。この場をお借りしまして、関係者各位のご協力に改めて感謝申し上げます。

当財団は、広島県・中国新聞社・三原市（本郷町）・東広島市（河内町）の四者の出えんによる基本財産をもとに、県立中央森林公園の管理運営に協力することを目的に、今から28年前の平成4年4月に設立されました。

当時、広島県の空の玄関である空港は、広島市西区から豊田郡本郷町（三原市）への移転が急ピッチで進められており、周辺を囲む森林公園では、空港の緩衝緑地・森林の多様な体験活動・周辺のにぎわい創出・災害の防止など多くの課題を抱えていました。

平成5年の森林公園の開園以来、当協会は広島県からの施設の管理運営受託者としてまた指定管理受託者として、森林公園の管理運営に携わってまいりました。

県立中央森林公園の魅力ある施設の二枚看板

一つは、広島県の三つの景観（山・中国山地・里・賀茂台地や世羅台地・海・瀬戸内海）をコンセプトにした広大な日本庭園「三景園」です。

もう一つは、空港の外周を一周する

自転車競技大会開催も可能な専用サイクリングロードです。

これらの施設を中心に当協会では、広々とした広大な森林環境を活かした管理運営を手掛けますとともに、年間100に及ぶ独自イベントなど、自然環境の大切さを学ぶ機会を提供してまいりました。

開園から四半世紀、施設の老朽化対策や野外レクリエーション施設の宿命ともいえる不安定な気象への対応など、苦労の種は尽きません。

近年は年間25万人前後と利用客数は安定を見せてはいるものの、過年度は西日本豪雨による休園、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響など、将来需要を的確に把握対応することも強く求められています。

終わりに、空港周辺地域の活性化に

資するためにも、航空需要の速やかな回復を祈念しますとともに、引き続き、皆様のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



みどりづくり活動支援事業紹介

吉舎学区緑化事業 〈三次市立吉舎中学校〉

学区の概要

三次市では全ての中学校区で小中一貫教育を進めています。吉舎学区では、保育所から高校まで日常的に様々な交流を行っています。吉舎中学校は、吉舎学区の花植えボランティアの中心として、2年前から「緑の募金事業」の支援をいただき活動しています。吉舎中学校は、生徒数73人の小規模校ですが、その良さを活かして生徒会を中心に、小中高、地域の方と一緒に花植えを行うことで、小学生に対しては、思いやりや良き手本になれるような気持ちをもち、高校生に対しては、良きモデルとの交流で将来の見通しを持てるよう、また地域の方とは、花植えを通して絆を深め、地域の活性化につながるよう取り組んでいます。

事業に取り組んだ理由

本校は、「挨拶、笑顔、花と歌声のあふれる学校づくり」をスローガンに掲げ、日ごろから、花のあふれる学校づくり、挨拶や花づくり等、地域との交流を大切にしながら思いやりの心や郷土愛を育むことを目的に取り組んでいます。

取組み内容等

今年度は、小学校の児童と中学校の生徒がそれぞれの学校で花植えを行い、地域とのつながりを深めるため、出来たプランターは、民生委員さんが、花を管理してもらえらる方を募集し、取りに来てもらったり、生徒が家へ届けたりしました。

今では、民生委員さんと一緒に考えた「吉（よ）き舎（や）どり 輝く花でつながろう」のキャッチコピー入りのプランターが町内各地に置かれ、綺麗な花が咲いています。一味違ったつながりに喜びを味わうことができました。

生徒から地域の方への手紙

地域の皆様、梅雨に入り蒸し暑い日が続く、庭ではアジサイが元気に花を咲かせています。私たちは、毎年6月に地域の方と一緒に花植えボランティアを行っています。本来なら、今回も地域の方と一緒に花植えボランティアを行う予定でした。しかし、コロナウィルスの影響で、私たちだけで植えることになりました。「花を通して地域の輪を広げていこう」と植えた花の世話を地域の方にお願ひすることにした。この依頼を快く引き受けていただきありがとうございます。花を植え

ることよりも、世話をすることの方が大変だと思ひます。花を通して町の人と人とのつながりが強まればと思ひています。よろしくお願ひします。

生徒の感想

ボランティアは初めてだったけど、綺麗に花を植えられてよかったです。それに、他の学年と一緒に協力して行うので仲良くなれるチャンスになりました。

私たちが今回植えた花を通して、地域に貢献できたと思ひます。これからも、地域がもっとつながれたらいいなと思ひました。

民生委員さんからお礼の手紙

校長先生、生徒の皆さん、花を植えたプランターを地域へ届けてくださ



中学生の花植えの様子、小グループに分かれて実施しました。



手紙を添えて、地域の方に花を配達



り、ありがとうございます。生徒の皆さんから「地域の輪をつなげていこう」のお手紙をいただきました。地域では、「これは大切に育てて可愛い花を咲かせてあげねとね。水やりするよ。肥料は？土をもうちよと入れておこう。」とか、いろんな声が聞かれ、皆さんの気持ちを大切にしようと思ひています。感謝です。梅雨時期 お身体ご自愛ください。

まとめ

花植えを通して、生徒と地域の方とのつながりがこれまで以上に強くなりました。支援を続けていただいている、「緑の募金事業」に感謝するとともに、これまで以上に地域の活性化に取り組んでいきます。



花を取りに来られた方もおられます



緑の少年団とは

緑の少年団は、次代を担う子どもたちが緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした自主的な団体です。

生い立ち

●誕生と成長

昭和35年、国土緑化推進委員会が「グリーン・スカウト」の名称で緑化を実践する少年団の結成を呼びかけ、各地で少年団が誕生しました。

更に、昭和44年には、秋田県から「緑の少年団の結成」の提案があり、以後各県で緑の少年団が結成され団数も著しく増加しました。広島県では、昭和50年から結成されています。

●発展

緑の少年団の成長に伴い、昭和50年代になって「都道府県連盟」の組織化が始まり、平成元年、少年団の内容充実や相互の連携強化を図ることを目的として、「全国緑の少年団連盟」が設立されました。「広島県緑の少年団連盟」は、平成7年7月12日に設立され

ました。

令和2年現在、全国では3225団体、約33万人の子供たちが少年団に加入し活動しており、広島県では29団体、3033人が活動しています。

活動の内容

●学習活動

森林や緑の働きを団員の年齢や学力に応じて学び、動植物の観察や保護についての学習、植林・下草刈りなど林業の体験、花の栽培や木工体験などを行います。



●奉仕活動

街頭での緑の募金の呼びかけや、地域の花壇の手入れ、緑地帯や河川の清掃、緑化行事への参加など、ボランティア活動を通じて社会の一員としての自覚を養っていきます。

団員みんなで協力し合い、緑を豊かにするよう、汗を流して勤労の喜びを

体得し、社会奉仕に励む心構えを養います。



●レクリエーション活動

キャンプや登山体験など、森林をフィールドとしたレクリエーション活動を行っています。

広島県では毎年夏に、1泊2日の日程で、交流集会を行っています。

県内の少年団が集まり、各団の活動内容発表や、伐採・木工クラフトなどの体験学習、キャンプファイヤーなど



の野外活動を通じて相互の交流と親睦を図るとともに、自然に親しみながら、心身を鍛錬し、自立・友愛・協同・奉仕の心を養います。

全国・ブロック規模の活動

●顕彰・発表

みどりの奨励賞、育成功労賞、全国緑の少年団活動発表大会など

●各緑化行事への参加

全国植樹祭、全国育樹祭、みどりの感謝祭での苗木贈呈、お手植えの介添えなど

●相互交流

緑の少年団交流大会（北海道で開催）、東海地区みどりの少年団（隊）サマージャンボリー（愛知、岐阜、三重の持ち回りで開催）、ロシアとの国際交流事業など

育成・活動支援

緑の少年団に対し、国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会では、助成事業を実施しています。

広島県みどり推進機構では、皆様から寄せられた「緑の募金」を活用し、広島県緑の少年団連盟を通して各緑の少年団に対し、活動費の助成や交流集会の支援を行っています。

皆様も少年団を結成されてみてはいかがでしょうか。



県立もみのき森林公園

〈廿日市市吉和〉



西中国山地の標高900mに位置しているもみのき森林公園は「森林浴の森100選」にも選ばれた面積400ha（東京ドーム86個分）という広大な敷地を有するレジャー施設です。

人気アクティビティが揃う地上版の「わんぱくの森アスレチックコース」、空中版の「フォレストアドベンチャー広島」やオートキャンプ場、バーベキュー広場、宿泊施設「もみのき荘」、ハイキングコース、サイクリングロード、そり遊び場など多彩な施設があり、1日では遊び尽くせないほど充実しています。また、スポーツ施設や研修棟もあり、宿泊と合わせての野外活動やスポーツ合宿、研修、講演会や会議など、さまざまな目的に利用が可能です。



の景観が美しい広大な大自然のなかで、家族や友人とたつぷり有意義な時間を過ごしてみるのはいかがでしょうか。

また、紅葉は例年10月ごろから徐々に色づき始め、11月上旬まで公園一帯を鮮やかに彩ります。サイクリングコースの途中にある大聖寺湖は、湖面に映し出される紅葉が美しく人気のスポットです。また、宿泊施設から眺める夕陽に映える山々の雄大な姿も人々を魅了します。



宿泊施設「もみのき荘」

1日では物足りない！宿泊施設に泊まって大自然を存分に満喫しませんか。『耳より情報』です。今年度は、GOTOキャンペーン（令和3年3月15日まで）宿泊予約サイトからの宿泊は、35%OFFで宿泊できます。

オートキャンプ場

野鳥のさえずりや満天の星空を満喫できる自然環境豊かなロケーションが自慢のキャンプ場です。各サイトは自然の樹木で区切られ、プライバシーを保ちやすいファミリータイプ。隣接して「わんぱくの森アスレチックコース」があります。



フォレストアドベンチャー広島

自然共生型アウトドアパークで、自然のままの樹木や地形を利用したダイナミックなコースが特徴です。スリル満点の空中散歩やジップスライドのほか、ハシゴや吊橋、ターザンスイングなど！



サイクリングロード

見渡す限りの森林の中にあるサイクリングロードは1周6・15kmです。季節ごとに移ろう高原の豊かな景色を眺めながら颯爽と駆け抜けるサイクリングはいかがですか。



※スポーツ施設はすべて予約が必要です。冬期間は積雪のため屋外施設は使用できません。

施設の料金、営業時間等はお問い合わせください。

TEL 0829（77）2011

最後に、今年度は新型コロナウイルスの影響による企業、学校関係の利用の自粛により大幅な収入減となっております。今後の管理運営に苦慮しています。HITひろしま観光プロジェクトのクラウドファンディングにご協力を！

令和2年度

林業・環境緑化写真コンクール作品募集

森林・林業・環境緑化をテーマにした写真を募集します。

締め切り

令和3年1月29日

お問い合わせ・送り先

広島県林業改良普及協会

〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県庁森林保全課内

TEL.082-513-4840 FAX.082-223-3583

■題 材

①県民参加による森林整備やその普及・啓発活動、その成果を示す風景。②県内の林業作業風景（植樹を含む）、林相、山村の民家、森、奇岩、山村の祭り、木造建築、木材の加工、林産物生産などを対象としたもの。③学校・工場・広場などの環境緑化のための植樹作業風景、森林レクリエーション施設などの利用風景などを対象としたもの。

■サイズ

2L版（12.7cm×17.8cm）カラー、縦位置可

■作 品

未発表の作品に限ります。

「林業・環境緑化写真コンクール応募票」に住所、氏名、撮影年月日、撮影場所、主題と簡単な説明を記入し、写真の裏へ貼付してください。なお、出品点数には、制限ありません。

■応募資格

広島県在住者であること。職業写真家でないこと。

■賞および賞品

特選 2点（賞金2万円）、入選10点（賞金5千円）

佳作若干（賞金3千円）

■入選発表

結果は、令和3年4月1日（※）に広島県林業改良普及協会発行の「ひろしまの林業」及びホームページ上にて発表します。

■その他

入賞作品は、令和3年度「ひろしまの林業」の表紙に使用するほか、県民の緑化意識の啓発、高揚を図るため、林業、環境緑化関係の広報資料として使用します。応募作品の著作権は広島県林業改良普及協会に帰属し、応募作品は返却しません。

入賞作品は、ネガ又はデータを提出していただきます。

主催／（公社）広島県みどり推進機構・（一社）広島県森林協会・広島県森林組合連合会・広島県林業改良普及協会

イベント掲示板（10月～12月）

行 事 名	実 施 日	料 金	申込（期限）	内 容
広島県緑化センター TEL 082-899-2811 広島市東区福田町 http://ryokka-c.jp/				
秋のきのこ教室	10月4日（日）	無 料	自由参加	各自できのこを採集した後、名前や食毒の鑑定、採取用のカゴ持参 ※第3駐車場集合
10月の自然探勝	10月14日（水）	無 料	自由参加	“人と木の秘密”をテーマに植物観察、ルーベ持参
秋のパートウォッチング	10月24日（土）	無 料	自由参加	散策路を歩きながら野鳥観察、双眼鏡持参
もみじ祭り2020 （はなのわスポットイベント）	10月24日（土） ～11月15日（日）	無 料	自由参加	期間中はシンボルツリーの県内最大級オオモミジやハナノキ・大きなメタセコイアなど様々な樹々が綺麗に色づきます。園内を巡る紅葉クイズラリーも開催
松の手入れ 秋	11月2日（月）	無 料	要予約 先着20名	揉み上げ他、秋の手入れの基本と実践、剪定鋏、手鋸持参
第24回みどりの集い ～ありがとう40周年～	11月8日（日）	無 料	自由参加	この春、中止になったイベントを開催！ ノルディックウォーク・木工教室・寄せ植え教室・草花販売 etc… 家族で楽しめる催しが盛りだくさん！（詳しくはHP参照）
たね団子を作ろう	11月8日（日）	無 料	自由参加 （先着順受付有）	職員と一緒に、お花のたね団子を作って園内に蒔きましょう。 今回はハナビシソウ等、春咲きのお花のミックス編
11月の自然探勝	11月13日（金）	無 料	自由参加	園内を歩きながら落葉樹の冬支度を観察、ルーベ持参
シダの学習会	11月13日（金）	無 料	自由参加	シダ植物について学んだ後、屋外で観察、ルーベ持参
三本木山自然探勝	11月18日（水）	無 料	自由参加	アラカシからツクバネガシへ植生の観察
整枝・剪定講座	11月23日（月・祝）	無 料	要予約 先着20名	基本を学んだ後、剪定の実践、剪定鋏・手鋸持参
常緑広葉樹の見分け方	12月16日（水）	無 料	自由参加	実物の枝や葉っぱを用いて特徴や見分け方を学ぶ、ルーベ持参
広島県立中央森林公園 TEL 0848-86-9101 三原市本郷町 http://www.chuo-shinrin-koen.or.jp/				
季節の寄せ植え『秋色リース』	10月11日（日）	2,000円	要予約（開催日の1週間前）	秋の生花を使ったリース作り
もみじまつり	10月30日（金）～ 11月23日（月・祝）	320円（大人）・ 160円（小人）	自由参加	1年で最も美しい晩秋の日本庭園を楽しもう！
絵画コンクール （はなのわスポットイベント）	10月31日（土）～11月21日（土） の毎週土曜日	無 料	要予約（開催日の1週間前）	対象：幼児・園児・小学生
写真教室（もみじ）（三景園）	11月15日（日）	2,000円 （昼食代含む）	要予約（開催日の1週間前）	講師を招き、園内のもみじを撮影、撮影写真を観ながらアドバイス有り
三景園のアジサイでリースづくり	11月28日（土）	2,500円	要予約（開催日の1週間前）	アジサイのドライフラワーでリース作り
季節の寄せ植え 『葉ボタンハンギング』	12月6日（日）	2,000円	要予約（開催日の1週間前）	葉ボタンを使ったハンギング作り
正月飾り講座	12月26日（土）	2,750円から	要予約（開催日の1週間前）	手作りの飾りで新年を迎えましょう！

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、イベントや研修会等の中止（または延期）及び開催場所や時間等を変更する場合があります。

開催の有無については、お電話又はホームページ、SNS等で最新の情報をご確認ください。

緑の少年団活動状況

八千代みどりの少年団 【安芸高田市】

八千代みどりの少年団は、前身の刈田小学校時代の昭和50年に設立、広島県で最初に設立した歴史のある少年団の1つです。現在は、八千代小学校（平成30年、刈田小学校と根野小学校が合併）の全校児童が加入し、団員数は178人です。少年団は、年間を通じて多く県民が訪れる土師ダムなどがある自然環境豊かな安芸高田市八千代町で、昨年は年間を通じて、次のような活動をしました。

学習活動

花いっぱい運動など

全団員が年間を通して花や野菜等を育てる活動を行っています。

花の苗をプランターに植え、花いっぱいの学校にしようと水をやり大切に育てています。また、学年ごとに様々な野菜等を栽培し、植物や土



などの自然に触れる機会を多くもっています。更に、校舎外に咲いている季節に合った切り花を玄関に展示しています。これらの活動により、情操教育につながり、自然を大切にしていこうとする意欲を高めることができます。



地層観察

6年生

は、講師の案内で、学校の周辺や林の中を散策し、町内の地層について教えて頂きました。市文化財の「河川争奪の断層」など、町内に特異な地層が存在していることを知り、地元への愛着を高めています。また、自然の壮大さを実感しています。



奉仕活動

遊歩道整備

6年生は、

地域の方に指導して頂いて、階段が朽ちて歩きにくくなっていた学校裏の遊歩道を整備しました。古く



った階段の木を取り除き、新しい木を設置して、砂利（セメントバラス）を敷き詰めました。これにより、学校裏の自然観察に行きやすくなり、地域の方と交流を深めることができました。

レクリエーション活動

木の駅八千代・木育授業



6年生は、ボランティアの方から、地元の山林の現状や林業が抱えている

課題、今後の事業展開について聞き、実際に山に入っの間伐、切り出しなどの林業体験をしました。また、切り出した丸太を業者に販売する体験も行いました。2月には林業について1年間学んだことを発表し、山を守り育てることに関心を持つことができました。



長期宿泊体験学習

5年生は、三瓶青少年交流の家で宿泊体験学習を行いました。星空観察、ネイチャークラフト工作や創作活動を通して自然に親しみ、命や自然の大切さを考えました。



令和2年度

広島県緑化ポスター原画コンクール

応募多数の中から 入選作品が決定しました!

次代を担う子供達が、森林の持つ役割、緑を守り育てることの意義・必要性を学び、考えるきっかけとなるよう、広島県緑化ポスター原画コンクールを昭和28年から実施しています。

本年度も、公益社団法人広島県みどり推進機構が主催、広島県、広島県教育委員会の共催により開催しました。県内99校から1450人の参加者があり、9月16日に審査会を開催し、次のとおり入賞者が決定しました。

(順不同、敬称略)

◎特選 (広島県知事賞)

◆小学校の部

西山 瑚音〈尾道市立山波小学校4年〉



◆中学校の部

吉田 麻紗〈近畿大学附属広島中学校東広島校2年〉



◆高等学校の部

博田 開〈広島県立尾道東高等学校1年〉



◆特別支援学校の部

渡邊 加菜〈広島県立尾道特別支援学校中学部1年〉



◎入選 (広島県教育委員会賞)

◆小学校の部

- 津川 莉央〈福山市立水呑小学校1年〉
- 町田 亜蓮〈広島市立春日野小学校2年〉
- 前野 光紀〈広島市立宇品東小学校3年〉
- 渡邊 穂〈尾道市立山波小学校4年〉
- 藤谷 周花〈広島市立東野小学校5年〉
- 中島 未来〈広島市立観音小学校6年〉

◆中学校の部

- 住田 遥〈如水館中学校1年〉
- 丸尾 知那〈東広島市立中央中学校2年〉
- 岡本 望心〈広島市立美鈴が丘中学校3年〉

◆高等学校の部

船橋菜々子〈広島市立舟入高等学校1年〉

◆特別支援学校の部

後藤 望心〈広島県立福北特別支援学校中学部1年〉

◎佳作 (公益社団法人広島県みどり推進機構理事長賞)

◆小学校の部

- 岡村 成実〈海田町立海田小学校1年〉
- 藤縄はるる〈広島市立安小学校1年〉
- 三田村結依翔〈広島市立牛田新町小学校1年〉
- 加藤 未衣〈広島市立五日市中央小学校2年〉
- 鳥飼 健太〈広島市立安小学校2年〉
- 片島 成〈東広島市立豊栄小学校2年〉
- 古瀬 咲来〈広島市立宇品東小学校3年〉
- 神田 麗華〈広島市立亀崎小学校3年〉
- 豊本 桃々〈広島市立牛田新町小学校3年〉
- 河野 葵子〈呉市立明立小学校4年〉
- 戸田 琉愛〈府中市立国府小学校4年〉
- 瀬越 翔太〈広島市立袋町小学校5年〉
- 松岡 佳苗〈福山市立宜山小学校6年〉

◆中学校の部

- 廣原 榮生〈福山市立鷹取中学校1年〉
- 光守 智哉〈三次市立八次中学校1年〉
- 日村 柊太〈福山市立鳳中学校1年〉
- 宮内 萌衣〈広島市立庚午中学校2年〉
- 友野 綾香〈広島大学附属三原中学校2年〉
- 奥田 光咲〈広島市立大塚中学校3年〉
- 馬屋原弥和〈尾道市立向東中学校3年〉
- 檜谷 心結〈呉市立広中央中学校3年〉
- ◆高等学校の部
- 松本 奈々〈広島県立三原高等学校2年〉
- 岩田 悠奈〈広島県立松永高等学校2年〉
- ◆特別支援学校の部
- 大林 陽〈広島県立西条特別支援学校中学部3年〉
- 高崎 武〈広島県立西条特別支援学校中学部3年〉

公益社団法人 広島県みどり推進機構

〒730-8511 広島市中区基町 10-52 県庁森林保全課内 TEL082-513-4840
E-mail info@green-hiroshima.or.jp
ホームページ http://www.green-hiroshima.or.jp

●●● 支 部 事 務 局 ●●●

広島市	広島市役所農林整備課	082-504-2249	安芸高田市	安芸高田市役所農林水産課	0826-47-4022
広島市	呉市役所農林水産課	0823-25-3317	江田島市	江田島市役所農林水産課	0823-43-1642
竹原市	竹原市役所建設課	0846-22-7746	府中市	府中町役場環境課	082-286-3244
三原市	三原市役所農林水産課	0848-67-6081	海田町	海田町役場都市整備課	082-823-9634
尾道市	尾道市役所農林水産課	0848-38-9212	熊野町	熊野町役場農林緑地課	082-820-5638
福山市	福山市役所農林水産課	084-928-1033	坂町	坂町役場産業建設課	082-820-1512
府中市	府中市役所農林課	0847-43-7132	安芸太田町	安芸太田町役場産業振興課	0826-28-1973
三次市	三次市役所農政課	0824-62-6163	北広島町	北広島町役場農林課	050-5812-1857
庄原市	庄原市役所農林振興課	0824-73-1124	大崎上島町	大崎上島町役場建設課	0846-65-3124
大竹市	大竹市役所産業振興課	0827-59-2130	世羅町	世羅町役場産業振興課	0847-22-5304
東広島市	東広島市役所農林水産課	082-420-0939	神石高原町	神石高原町役場産業課	0847-89-3337
廿日市市	廿日市市役所農林水産課	0829-30-9148			

ひろしまの緑 86号 (令和2年10月1日発行) 発行 公益社団法人広島県みどり推進機構